



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成25年04月15日 第609号「週刊五十嵐レポート」

三現主義

三現主義とは、「現場」「現物」「現実」の3つの「現」を重視し、机上ではなく、実際に現場で現物を観察して、現実を認識した上で、問題の解決を図らなければならないという考え方のこと。

経営者の中には、机上で会社情報(数字等)を見て、現場で起こっていることをわかった気になり、経営判断を誤る経営者も少なくありません。

もう一度原点に帰り、自分の目で確かめ、自分の耳で聞き、自分の肌で感じる、そして自分で考え、判断すること。

ある経営者と自社店舗(3店)を視察しました。

- ・挨拶がしっかりできている店とできていない店。
- ・顧客に積極的に提案している店とそうでない店。
- ・商品のボリューム感のある店とそうでない店。
- ・活気のある店とそうでない店。

数字で黒字の店と赤字の店があります。数字は結果です。うそつきません。その結果を出す原因が現場にあります。黒字の店は、挨拶がしっかりできており、顧客に積極的に提案しており、商品のボリューム感があり、活気があります。反対に赤字の店は挨拶の声が小さい、顧客に提案をしていない、売れないから商品のボリューム感がない、当然活気がありません。

現場を見ることで、解決策が見えてきました。やるべきことができていません。やるべきことをやれば必ず結果が変わってきます。

ただ数字だけ見て、社員に叱咤激励しても解決にはなりません。やはり三現主義である「現場」「現物」「現実」を知ることによって社員に対して正しい助言ができるようになります。

事件は「現場」で起きています。解は「現場」にあります。

ちょっと
気になる出来事

ある49歳の中小企業の経営者が亡くなりました。

衝撃を受けました。

彼との出会いは平成21年3月。東京商工会議所足立支部主催のセミナー。私が講師をして、セミナー後、名刺交換をしました。

以来お付き合いさせていただき、平成23年2月、第1回のベトナム経済視察ツアーにも参加していただきました。

人には寿命があります。しかし自分の寿命はわかりません。

生かされている。命あることの尊さを痛感します。

今、自分が死んだら、悔いが残る。悔いが残らないよう一日一日精一杯生きていきたい。

自分の「死に方」を考えるようになりました。

ご冥福をお祈りします。



一口メモ
成功の秘訣

組織は病んでいる

組織で働く人たちにとって、仕事の完遂よりも昇進のほうが重要な問題となってきたような場合には、この組織は病気にかかったと考えなければならない。

また組織の構成員の長所を生かすことよりも、弱点を補強することに意を用いるような場合には、その組織は病気だといえる。

しかしまた、組織に「よき人間関係」が職務の遂行や業績より重要であるような場合にも病気なのである。

(「変貌する産業社会」)

組織の不良を物語る第一の兆候は、管理階層の増加である。

(「現代の経営」)

ドラッカー経営名言集より

- 週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 ●月刊五十嵐レポートダイジェスト
 - 町コンランチェスター経営戦略塾「会社成功塾」 毎週日曜日 午前10時～12時。
 - 町コン・ランチェスター経営戦略セミナー 毎月東京開催
- (株)五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
Tel03-3659-7703 Fax03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

